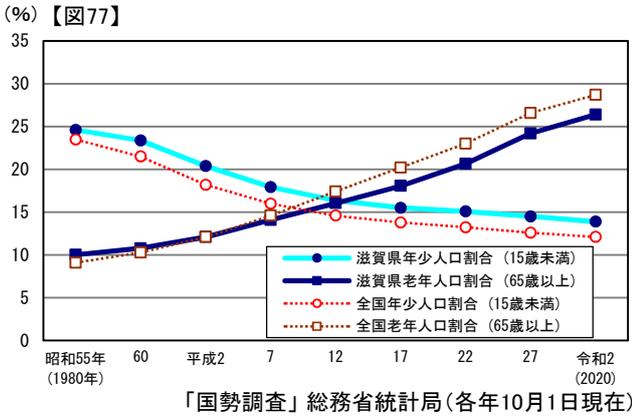
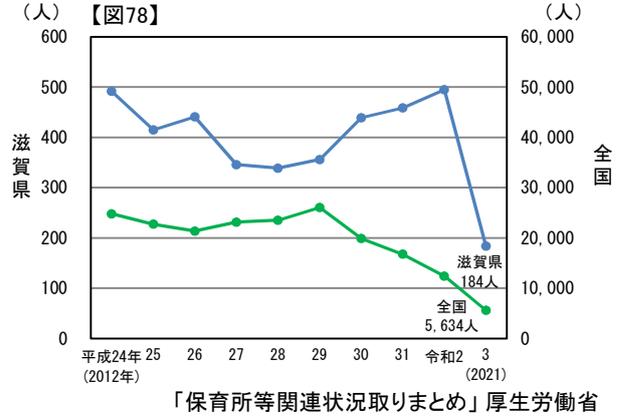


# 健康・福祉

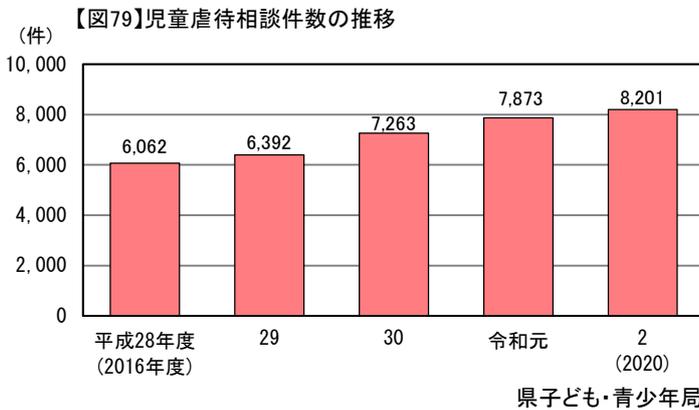
## ■年少人口と老年人口割合の推移



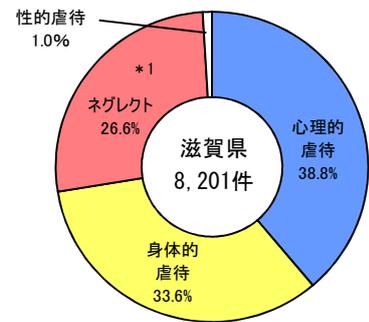
## ■保育所待機児童数の推移



## ■児童虐待相談件数

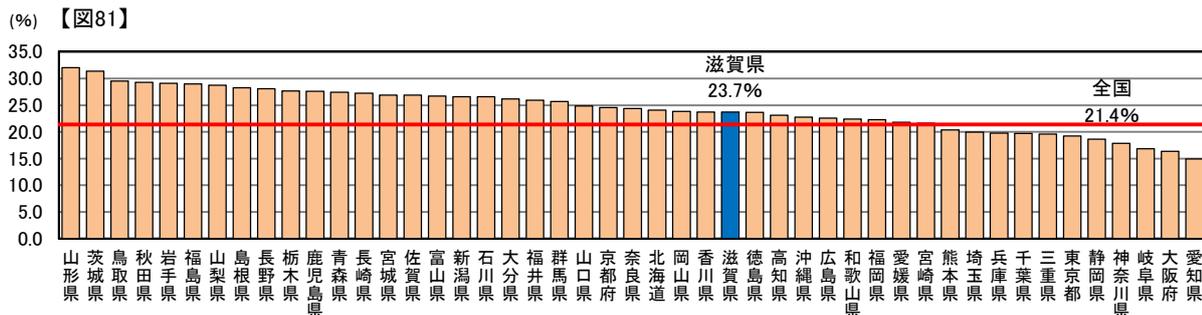


【図80】児童虐待相談件数の割合



\*1 保護の怠慢ないし拒否  
子ども・青少年局(令和2年度)

## ■小学校の児童数に占める放課後児童クラブ登録児童数の割合

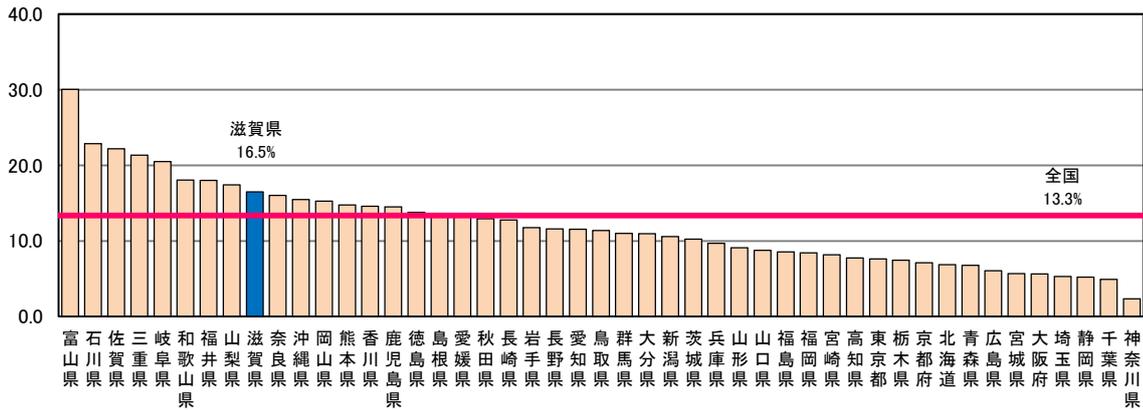


放課後児童クラブ登録児童数:「令和3年放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況」厚生労働省(令和3年5月1日現在)  
児童数:「学校基本調査」文部科学省(令和3年5月1日現在)

- ・令和2年10月1日現在の年少人口割合(15歳未満)は13.9%(全国平均12.1%)、老年人口割合(65歳以上)は26.4%(全国平均28.7%)である。(図77)
- ・令和3年4月1日現在の保育所待機児童数は、全国は5,634人で前年より6,805人、滋賀県は184人で前年より311人減少した。(図78)
- ・児童虐待相談件数は増加傾向にある。令和2年度に寄せられた相談では、心理的虐待の割合が38.8%と最も高い。(図79)(図80)
- ・令和3年5月1日現在の小学校児童数に占める放課後児童クラブ登録児童数の割合は23.7%(全国平均21.4%)で、全国28位である。(図81)

## ■ 老人クラブ

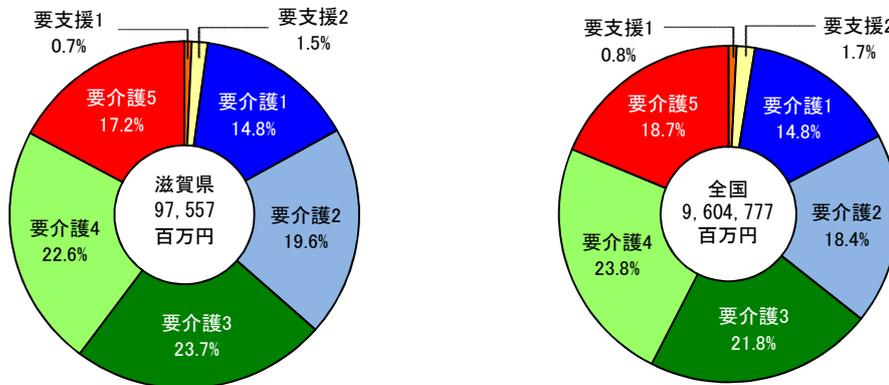
(%) 【図82】65歳以上人口に占める老人クラブの会員割合



老人クラブ会員数:「福祉行政報告例」厚生労働省(令和3年3月31日)  
人口:「国勢調査」総務省統計局(令和2年10月1日)

## ■ 介護

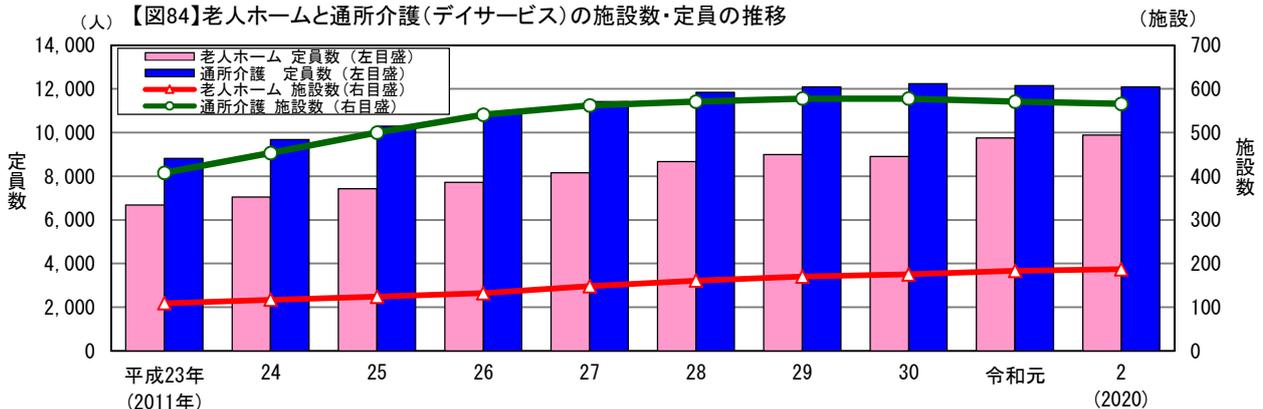
【図83】介護保険給付額の割合(令和2年5月~令和3年4月審査分)



※1 総額には、月の途中で要支援から要介護、要介護から要支援に変更となった者を含む。

「介護給付費等実態統計」厚生労働省(令和2年度)

(人) 【図84】老人ホームと通所介護(デイサービス)の施設数・定員の推移



※2 通所介護には、平成28年から地域密着型通所介護含む。

老人ホーム:各年3月31日現在、通所介護:各年10月1日現在  
県医療福祉推進課

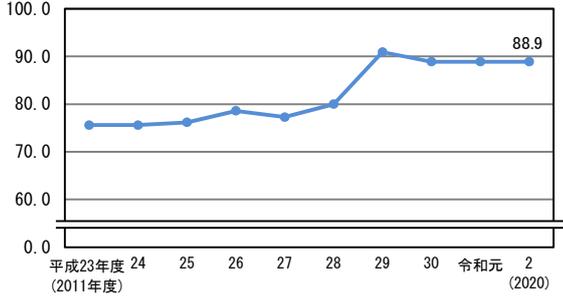
・令和2年度の老人クラブ会員数は60,133人で65歳以上人口の16.5%(全国平均13.3%)を占め、割合は全国9位である。(図82)

・令和2年度の介護保険給付額は976億円である。そのうち要介護認定の割合は97.8%で、全国(97.5%)とほぼ同率である。(図83)

・令和2年の老人ホームの施設数は187施設、定員数は9,888人、通所介護(デイサービス)の施設数は566施設、定員数は12,096人となっている。(図84)

## ■ バリアフリー化 (福祉のまちづくりの推進)

【図85】鉄道駅でのエレベーター・エスカレーター整備状況

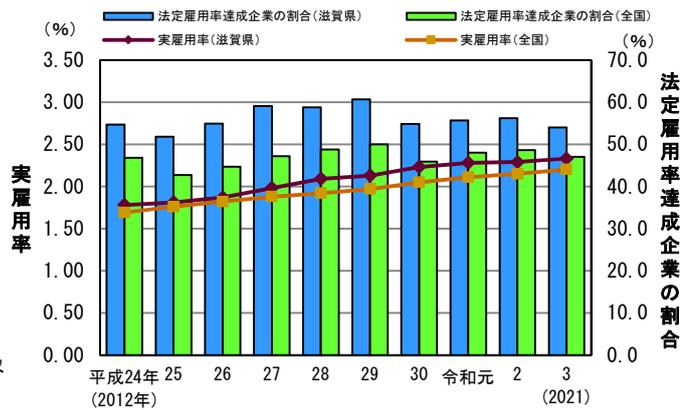


※3 3,000人/日以上の乗降客がある駅を対象としているため、対象となる駅数の増加により進捗率が下がる場合があります。

県交通戦略課

## ■ 障害者雇用

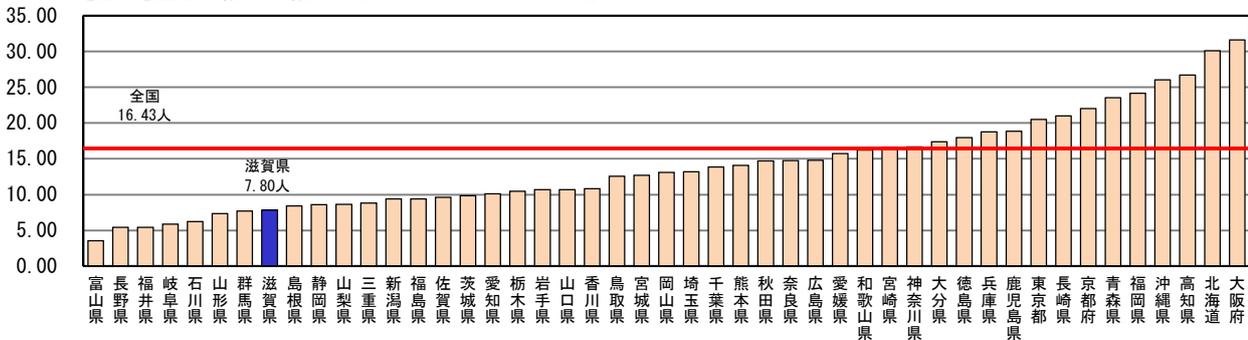
【図86】一般の民間企業における実雇用率の推移



「障害者雇用状況の集計結果」厚生労働省滋賀労働局 (各年6月1日)

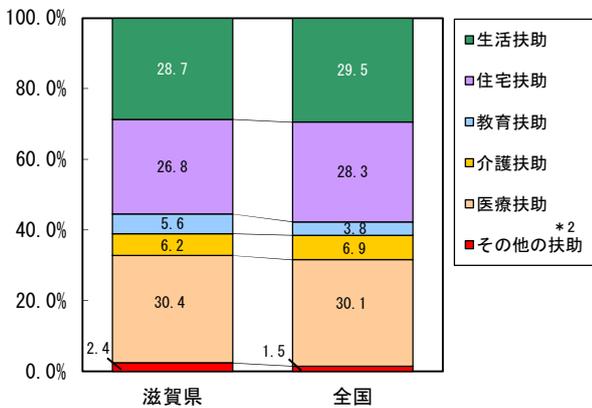
## ■ 生活保護

【図87】生活保護被保護実人員(月平均人口千人当たり)



「統計でみる都道府県のすがた 2022」総務省統計局 (令和元年度)

【図88】生活保護扶助の種類別人員割合\*1



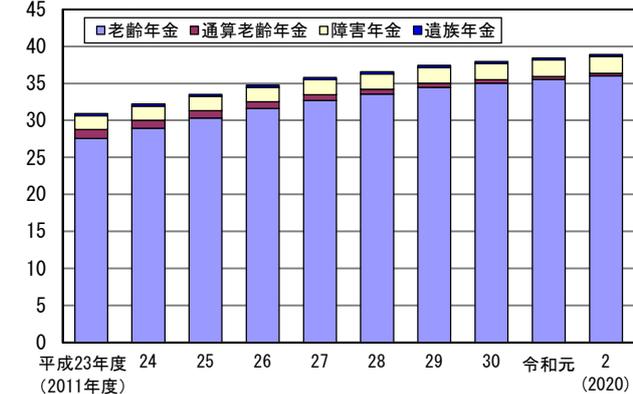
\*1 扶助の種類別延人員(滋賀県 33,449人、全国6,229,563人)に対する割合(被保護実人員は滋賀県10,906人、全国2,047,645人)

\*2 「その他の扶助」は、「出産扶助」「生業扶助」「葬祭扶助」の合計

「被保護者調査(年次調査/個別調査)」厚生労働省 (令和元年7月31日現在)

## ■ 国民年金

【図89】国民年金の受給件数の推移

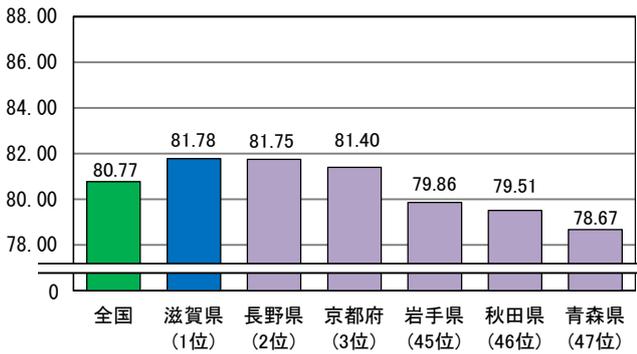


日本年金機構大津年金事務所

- ・令和2年度の鉄道駅におけるエレベーター・エスカレーターの整備状況は88.9%であった。(図85)
- ・令和3年6月1日現在の障害者実雇用率は2.33%(全国平均2.20%)、法定雇用率達成企業の割合は54.0%(全国平均47.0%)であった。(図86)
- ・令和元年度の生活保護被保護実人員(月平均人口千人当たり)は7.80人(全国平均16.43人)で全国で8番目に少ない。(図87)(図88)
- ・令和2年度末現在の国民年金の受給件数は389,251件であった。(図89)

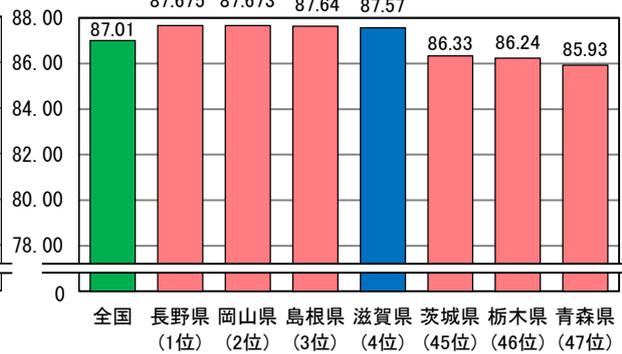
## ■平均寿命

(年)【図90】男性



「平成27年都道府県別生命表」厚生労働省

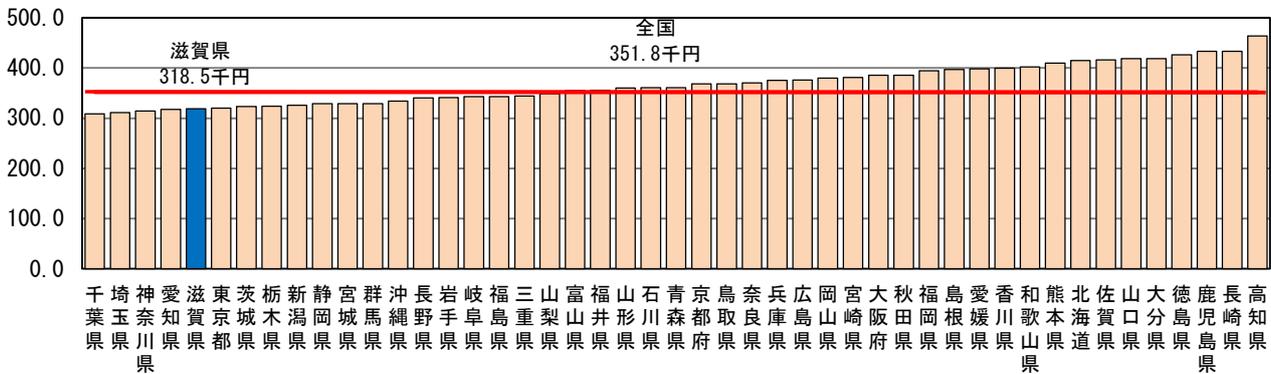
(年)【図91】女性



「平成27年都道府県別生命表」厚生労働省

## ■国民医療費

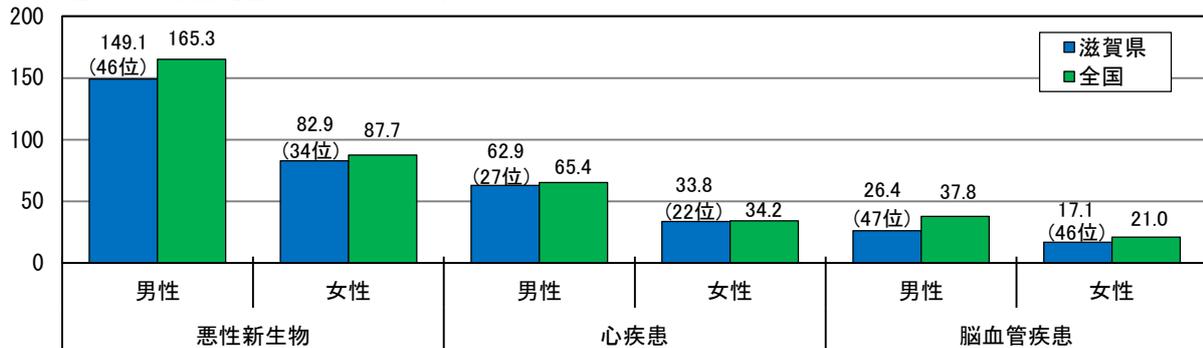
(千円)【図92】1人当たり国民医療費



「令和元年度国民医療費」厚生労働省

## ■3大死因による死亡率

(人)【図93】年齢調整死亡率\*3(人口10万対)



\*3 都道府県別に死亡数を人口で除した死亡率を比較すると、各都道府県の年齢構成の差により、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向があるため、異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率

「平成27年都道府県別年齢調整死亡率の概況」厚生労働省

・平成27年都道府県別生命表によると、男性の平均寿命は81.78年で全国1位、女性の平均寿命は87.57年で全国4位である。(図90)(図91)

・令和元年度の1人当たりの国民医療費は、318,500円で全国で5番目に少ない(全国平均351,800円)。(図92)

・平成27年の3大死因での死亡率を全国と比較すると、「悪性新生物」、「心疾患」、「脳血管疾患」のいずれも全国値を下回っている。(図93)